

心を一つに奏でよう！

ねらい：友だちや保育者と様々な協同的な活動に意欲的に取り組む。

作成日：2025.9.26

作成者：薦田莉奈

対象児：かえで組5歳児



【振り返り】

2学期になり音楽会に向けて日々活動に励んでいる子ども達です。音楽遊びを通して鍵盤ハーモニカや楽器に親しみ、歌を歌ったり音を奏でたりする楽しさを感じながら活動してきました。最初は消極的な姿勢だった子も活動を積み重ねていくうちに出来るようになっていく達成感を感じ、自由遊びの時間にも鍵盤ハーモニカやキーボードに触れて取り組む様子が見られるようになっていきました。お友だちが頑張っている様子を見て応援したり「ここはこうだよ。」と教えてあげたりとクラスの中での仲間意識も芽生え、気持ちが一つになっていくようでした。そんな中、かえで組の教室では元気いっぱい発表している子ども達も、ホールへ移動したりお友だちのお客さんにみてもらったりと環境の変化に伴って緊張や恥ずかしさからか歌や音が小さくなる事がありました。子ども達が自信を持って堂々と発表できるようになるにはどうしたら良いか、他のクラスの演奏を見せてもらったあと子ども達と話し合いました。「音が大きかったな！」「すごかった！」「足がきれいだった！」と子ども達になりを考えていて、私も気づきや発見を子ども達と共有しました。『お口がよく動いてたね』『かえで組さんは音程が上手やから、あとはお口いっぱい開けてハキハキ歌ったらもっとよくなるかも』とアドバイスすると「そうか！」「自信持って！」「次やってみよ！」と前向きな姿勢で活動に参加する姿が見られるようになってきました。音楽会を通して音楽に親しむだけでなく、クラスの一員として支え合いながらみんなで心を一つに頑張る素晴らしさを感じて欲しいなと思っています。(健康な心と体、言葉による伝え合い、共同性、自立心、道徳性・規範意識の芽生え)